

2016 Jikji International Road Race レポート

2016-0515 発信

今回参加のメンバーは、福岡 1 名、沖縄 1 名、熊本 4 名とスタッフ 3 名の計 9 名、熊本の選手 4 名とスタッフ 2 名は今回の熊本地震で全員被災しており、今大会の出場が危ぶまれたが、選手達の出場にかかる強い思いが実り、エントリー通りのメンバーで集まる事ができた。

メンバーは、5/14 (土) 9:00 福岡空港に集合し、10:30 発、大韓航空 788 便にて仁川へ向け出発した。

仁川空港へ到着後は自転車ほか荷物をピックアップし、主催者が準備したマイクロバスの乗り込み、第 1 ステージのスタート地点である「Cheongju-si」へ移動を開始した。途中、大型バスの事故により、大渋滞に巻き込まれ、



到着予定時刻を 2 時間以上超え、ホテルに到着した時には間もなく 16:00 になろうとしていた。

朝食を食べた後は、機内食のおにぎりとおかきの詰め合わせ?しか摂ってないので、まずは夕食前の「昼食」となった。

食事後は自転車の組み立て、整備と荷物の確認を済ませ、軽いロードワークで身体をほぐした。

その後、シャワーを済ませ、早目の夕食を摂ったあと簡単なミーティングを済ませリラックスタイムとした。

遠征先での心配は言葉と食事である。言葉については簡単な英語のやり取りができる方がアテンドし

て頂いているので、ほぼ問題なし。食事は基本的には朝・夕はキムパプ（簡単な韓国料理を食べさせてくれる「ホカ弁」?をイメージ）で海苔巻きとスープ（もしくは麺類）で、ほぼ「炭水化物一色」、夜は選手からのリクエストを聞き調整するようにした。メッカとはいえ、レース中に焼肉を食べさせる訳にもいかず選手、スタッフの苦悩が続きそうである。

5/15 (日) は、午前中に軽めのロードワーク+刺激を入れ、昼食後はリラックスタイム、スタッフは 14:30 に主催者の送迎車がピックアップに来る段取りだったので、ホテル前に待機していたが、一向にお迎えが来る気なし…。途中、ホテルのフロントの韓国語しか通じない親父さんに主催者に連絡をお願いし



たが、15:30 からの受付に間に合わないと判断し、時間貸し（運転手あり）の車を手配して受付会場へ移動した。結局、1 時間近く待ち呆けをするはめになった。

受付会場到着後、この件を確認したら、ピックアップの時間を 1 時間間違えて記載したとのこと。それでは待つて

いても来る訳がない…。これも海外遠征あるある？

移動初日より、トラブル続きで閉口気味ではあるが、その後は、受付、マネージャーミーティングを終えホテルに戻った。夕食前に選手とのミーティング、その後夕食を済ませ明日に備えた。

いよいよ明日から第1ステージが始まる。

初日の天候は生憎の雨天予報、過去の傾向を見ると、第1、2ステージでのアドバンテージを最終ステージまで守ることが多いので、いい意味で明日の天気を見方につけ、少しでもアドバンテージを稼ぎたい。

今回の遠征には、(公財) JKA様をはじめとする、多くの関係団体のご支援を頂いている。ジュニア層の育成はもちろん、結果も含めた成果を持ち帰ることができるよう、チーム一丸となって取り組みたい。



文責：中田（全国高体連自転車競技専門部）